



2023年5月11日

各位

会社名 株式会社デジタルガレージ
代表者名 代表取締役兼社長執行役員グループCEO 林 郁
(コード番号: 4819 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 コーポレート本部共同本部長 青井 建治
(TEL: 03-6367-1111)
(URL: <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>)

2023年3月期通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）における通期連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績と前期実績との差異

	収益	税引前利益 (△損失)	当期利益 (△損失)	親会社の所有者 に帰属する当期 利益 (△損失)
前期実績 (A) (2022年3月期)	百万円 72,955	百万円 45,393	百万円 30,149	百万円 30,330
当期実績 (B) (2023年3月期)	30,070	△13,881	△9,322	△9,058
増減額 (B-A)	△42,884	△59,274	△39,471	△39,388
増減率 (%)	△58.8%	—	—	—

2. 前期実績との差異理由

上記のとおり、2023年3月期通期連結業績の収益は30,070百万円（前期比42,884百万円減、同58.8%減）、税引前損失は13,881百万円（前期は45,393百万円の利益）、当期損失は9,322百万円（前期は30,149百万円の利益）、親会社の所有者に帰属する当期損失は9,058百万円（前期は30,330百万円の利益）となりました。

当連結会計年度は、一部投資先の公正価値評価額が大幅に減少したことにより、インキュベーションテクノロジー事業の「営業投資有価証券に関する損失」及び事業セグメントに属していない全社共通の「金融費用」として評価損を計上し、減収減益となりました。一方で、当社グループの主力事業であるフィナンシャルテクノロジー事業では引き続き決済取扱高が増加したほか、マーケティングテクノロジー事業では、主力のデジタル広告において金融領域のマーケティングを中心に広告取扱高が前期を

上回りました。また、ロングタームインキュベーション事業では、外食需要が着実に回復に向かったこと等を受け、(株)カカクコムの特分法による投資利益が前期比で増加するなど、インキュベーションテクノロジー事業を除いた各事業セグメントの税引前利益につきましては二桁以上の増益となりました。

2023年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表しました「2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」をご参照ください。

以 上